



Medical Management Specialist

MMS ニュース

2015

3
月号

●発行/一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F

●編集/日本医療企画
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/



2015(平成27)年「医療経営士」新春の集い
主催：一般社団法人 日本医療経営実践協会

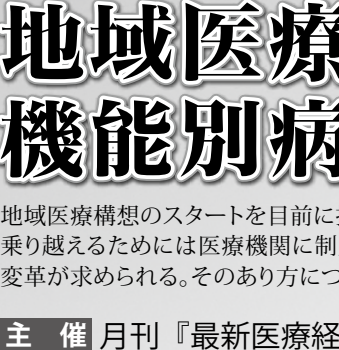
冒頭、少子高齢化に伴う人口構造の変化や地域コミュニティの衰退、国・地方の財政悪化など山積する現状の課題を挙げた穂坂氏は、市長時代の経験を活かしながら、「行政システム」の構築は進まない。民間の事業体で地域をリードしていくという意識改革が必要で、医療経営士にはその役割を担ってほしい」と期待を寄せた。

続いて開かれた第II部の「新春の集い」では、記念撮影のあと、吉原健二代表理事(公益財団法人難病医学

研究財団理事長)による主催者挨拶が行われた。吉原代表理事は「これからの医療は病院だけでなく、地域・在宅と役割分担し、連携を図っていかねばならない。医療経営士には自分たちが地域の医療を変えたいという信念を持って活躍してほしい」とエールを送った。

次に、京都大会の演題発表で最優秀賞に輝いた安藤未生氏(独立行政法人国立病院機構本部職員厚生部職員課勤務係)、優秀賞を受賞した園田幸生氏(医療法人社団高邦会福岡山王病院消化器外科外科医長)、柳澤孝彰氏(医療法人花仁会秩父病院総務課係長)がそれぞれに登壇し、挨拶を行った。

安藤氏は「入職時に感じた教育制



医療経営士の活躍に期待を寄せた穂坂氏

第一回「新春講演会」では、前埼玉県志木市長で、医療法人瑞穂会理事長を務める穂坂邦夫氏を講師に迎え、約1時間半にわたってご講演いただいた。

冒頭、少子高齢化に伴う人口構造の変化や地域コミュニティの衰退、国・地方の財政悪化など山積する現状の課題を挙げた穂坂氏は、市長時代の経験を活かしながら、「行政システム」の構築は進まない。民間の事業体で地域をリードしていくという意識改革が必要で、医療経営士にはその役割を担ってほしい」と期待を寄せた。

続いて開かれた第II部の「新春の集い」では、記念撮影のあと、吉原健二代表理事(公益財団法人難病医学

研究財団理事長)による主催者挨拶が行われた。吉原代表理事は「これからの医療は病院だけでなく、地域・在宅と役割分担し、連携を図っていかねばならない。医療経営士には自分たちが地域の医療を変えたいという信念を持って活躍してほしい」とエールを送った。

次に、京都大会の演題発表で最優秀賞に輝いた安藤未生氏(独立行政法人国立病院機構本部職員厚生部職員課勤務係)、優秀賞を受賞した園田幸生氏(医療法人社団高邦会福岡山王病院消化器外科外科医長)、柳澤孝彰氏(医療法人花仁会秩父病院総務課係長)がそれぞれに登壇し、挨拶を行った。

安藤氏は「入職時に感じた教育制

一般社団法人日本医療経営実践協会主催 2015年「新春講演会」&「新春の集い」 地域全体の発展を考える病院経営へ 医療経営士のさらなる活躍に期待!

2月7日(土)、東京都千代田区のアスカディア市ヶ谷私学会館にて、「2015年「新春講演会」&「新春の集い」が開催された。第I部「新春講演会」では、前埼玉県志木市長の穂坂邦夫氏が「新しい地域づくりの中で求められる医療・介護の役割と責務」をテーマに講演した。第II部「新春の集い」では、全国から駆けつけた医療経営士が協会理事や参加者同士で交流を深めていた。

今のやり方を変える
勇気が必要

冒頭、少子高齢化に伴う人口構造の変化や地域コミュニティの衰退、国・地方の財政悪化など山積する現状の課題を挙げた穂坂氏は、市長時代の経験を活かしながら、「行政システム」の構築は進まない。民間の事業体で地域をリードしていくという意識改革が必要で、医療経営士にはその役割を担ってほしい」と期待を寄せた。

続いて開かれた第II部の「新春の集い」では、記念撮影のあと、吉原健二代表理事(公益財団法人難病医学

研究財団理事長)による主催者挨拶が行われた。吉原代表理事は「これからの医療は病院だけでなく、地域・在宅と役割分担し、連携を図っていかねばならない。医療経営士には自分たちが地域の医療を変えたいという信念を持って活躍してほしい」とエールを送った。

次に、京都大会の演題発表で最優秀賞に輝いた安藤未生氏(独立行政法人国立病院機構本部職員厚生部職員課勤務係)、優秀賞を受賞した園田幸生氏(医療法人社団高邦会福岡山王病院消化器外科外科医長)、柳澤孝彰氏(医療法人花仁会秩父病院総務課係長)がそれぞれに登壇し、挨拶を行った。

安藤氏は「入職時に感じた教育制

最新医療経営 Phase3 フェーズ3 創刊30周年記念フォーラム

地域医療大再編時代の幕開け!! 機能別病院経営の戦略と戦術

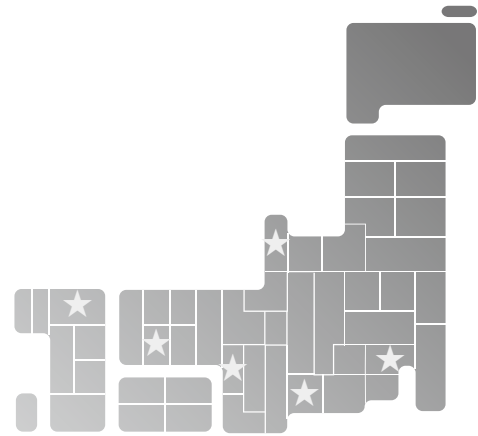
地域医療構想のスタートを目前に控え、地域ごとの病床策定や機能分担など外部環境の変化ばかりが目されるが、これら乗り越えるためには医療機関に制度対応ではなく、経営戦略の立案や生産性の向上、それらを実践する人材育成などの内部変革が求められる。そのあり方について病院経営者や有識者ととともに考える。

- ◇東京会場【2015年3月4日(水)】
大和ハウス工業 東京本社(東京都千代田区)
- ◇静岡会場【2015年3月9日(月)】
ホテルアソシア静岡(静岡県静岡市)
- ◇大阪会場【2015年3月14日(土)】
新大阪丸ビル別館(大阪府大阪市)
- ◇仙台会場【2015年3月19日(木)】
TKPガーデンシティ仙台(宮城県仙台市)

主催 月刊『最新医療経営Phase3』株式会社日本医療企画
受講料 日本医療経営実践協会会員：8,000円(一般：10,000円)

会場ごとのプログラムは
日本医療企画 検索

実践に重きを置く日本医療経営実践協会では、医療経営士のスキルアップと相互交流を目的に、設立当初から地域支部活動を推進してきた。これまで関東、北陸、東海、関西、九州の5支部を中心に活動してきた地域支部は、2014年7月に中国支部が新たに加わり、現在、準備室として活動している北海道の支部開設もすぐそこまで迫っている。また、福岡を拠点とする九州支部は鹿児島に南九州支局を開設し、数多くの会員を抱える関東支部は、東京以外の関東各県で研究会を発足させた。さらに、関西支部は3月21日(土)に四国・高松で初めての研究会を開催する。全国各地に拡大を続ける支部研究会の動向をレポートする。



東海支部

学びと出会いの場に加え、実際の現場改善につながる研究会へ

東海支部では、医療関係者の学びと出会いの場を目的として、「名古屋医療マネジメント研究会」を開催しています。2014年度は、第5回から第9回まで全5回開催しました。

1月は、長英一郎氏(東日本税理士法人)を講師に招き、「26年度診療報酬改定、医療法改正、税制改正にどう備える?」をテーマに開催し、約120名が参加。

4月は、真野俊樹氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所教授)を招き、「医療の国際化と医療マネジメントの必要性」と題して、最新の医療特区の話を中心に愛知の医療を発展させようとする盛り上がる研究会となりました。

7月は、「地域包括ケア時代の鍵『多職種協働と地域連携』」をテーマに、松村眞吾氏(メディサイト代表)による講義が行われました。地域包括ケアシステムでは、時代の変化に取り残されないようにしなければいけません。

10月は、災害対策特集とし、加藤寛氏(兵庫県こころのケアセンターセンター長)を講師に「災害時の支援者支援：惨事ストレスの理解と予防」を開催。阪神大震災やスマトラ島の震災、東日本大震災等の医療者ほか災害支援者のメンタルヘルスについてお聞きしました。東海地区ではBCPを含め、地震への対策が課題になっています。

12月は、「必ず役に立つ病院人事評価制度導入の手引きーあの一松阪市民病院の実践例!」として、世古口務氏(松阪市民病院総合企画室副室長)の講演をお聞きしました。10億円の赤字からV字回復までの道のりのなかで導入した人事評価制度は、参加者にインパクトを与えるものでした。

毎回50名から60名程の参加者で開催しており、盛り上がりを見せています。これからは学びと出会いの場だけに留まらず、実際に医療現場のカイゼンに役立つ研究会としていきたいと考えています。



毎回のディスカッションは大きな盛り上がりを見せている

関東支部

第3回全国大会で最優秀賞と優秀賞を受賞! 2015年度は「関東支部研究大会」を企画中

2014年度は、医療経営士同士の結びつきをさらに深め、地域それぞれの課題を解決できる場を提供することを目標に、これまで東京を中心に活動してきた研究会を関東各県や近隣地域へ拡大してきました。具体的には、神奈川県をはじめ、埼玉県、千葉県、静岡県、群馬県で初の研究会活動が発足しています。

医療経営士は、それぞれの地域が抱える課題を共有し、その解決に向けて一致団結していくことが重要です。関東支部では、研究会活動をその足掛かりと位置づけ、今後も内容を充実させていきたいと考えています。

また、今年度は「医療機関との上手なつきあい方」「病院経営を中心としたヘルスケア産業の動向」をテーマに、医療関連企業や金融機関に所属する医療経営士を対象とした研究会を開催。医療機関の特徴やニーズを理解し、関連企業の立場からどのように医療経営に貢献するかを考える機会として、好評を博しました。

そうしたなか、第3回全国大会(京都大会)において、日頃、研究会活動に積極的にご参加いただいている安藤未生さん(独立行政法人国立病院機構本部)が最優秀賞、柳澤孝彰さん(医療法人花仁会秩父病院)が優秀賞を受賞しました。これも研究会活動の成果の1つだと考えています。

2015年度は、支部活動の一環として、さまざまな医療データを独自に収集・分析し、各病院や地域に向けて情報発信をしていきたいと考えています。さらに、全国大会の前哨戦として「関東支部研究大会」の開催も企画中です。2年連続の最優秀賞・優秀賞獲得を目指し、今後も医療経営士同士が切磋琢磨できる環境づくりに注力していきます。



京都大会で最優秀賞を受賞した安藤未生さん(左)と優秀賞の柳澤孝彰さん(右)【写真は2015年「新春の集い」より】

関西支部

病院実務に視点を置いた研究会を実施! 多くの1級資格認定者を輩出したい

2014年度の関西支部研究会では、病院グループや企業など多方面から講師を招き、「民間中小病院における今後の事業戦略」「これからの介護ー医療連携ー病院完結から地域完結へのパラダイム・シフトー」「医療・介護マーケティング」など、さまざまなテーマの講演を行い、年を追うごとに研究会活動は活発化しています。2015年度介護報酬改定をテーマに、1月17日(土)に梅田阪急ビルオフィスタワー(大阪市)で開催した研究会には、75人が参加し、大盛況でした。

支部立ち上げ当初から、熱心に研究会に参加している方に加え、回を重ねるごとに、新しく参加される方も増えてきています。その一方で、最近の傾向としては、医療機関だけでなく、銀行などの金融機関や医療関連企業に勤務する医療経営士の参加が多くなりました。今後もリピーターを増やしながら、支部を盛り上げていきたいと考えています。

2015年度は、原点に立ち戻り、病院実務に視点を置いた研究会を展開していきたいと考えています。関西支部には3名の1級資格認定者がいますが、より実践的な活動を通して、さらに多くの方に1級を目指していただきたいと願っています。

病院実務に視点を置いた研究会の第1弾として、4月18日(土)から全4回にわたって、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏を講師に招き、関東支部でも好評だった「石井ゼミ」を開催します。ゼミのなかでは、プレゼンテーション能力の向上や医療マーケティングのスキルアップなどを目的に、実践的なグループワークを行っていく予定です。

関西支部の医療経営士が、第4回全国大会(金沢大会)で優秀な成績を収められるよう、支部活動のさらなる環境整備に努めていきます。



年々、活発化する関西支部の研究会

北陸支部

今秋、金沢で第4回全国大会を開催! 医療経営士よ、金沢に“きまっし”

2014年度は、幅広い視野で医療経営を見渡すことのできるゼネラリストの育成を目指し、参加者固定型の「医療経営管理者養成講座」という新しいスタイルの研究会を開催しました。この講座は全8回で構成され、医療制度から地域包括ケア、各種データの読み取り方や経営企画のマネジメントなどに至るまで、将来的に管理職を目指す精鋭たちを対象にしたもので、定員を上回る参加者が集まりました。受講生の満足度も高かったため、引き続き2015年度も開催する予定です。

新年度の大きなイベントとしては、10月31日(土)~11月1日(日)に金沢で開催される第4回全国大会が挙げられます。今回の金沢大会の特長は大きく分けて、①病院見学会の開催、②演題発表の充実、③北陸新幹線開通による首都圏からのアクセスの改善の3つです。

まず、大会前日に病院見学会を開催します。これは希望者のみを対象とした大会とは別のオプションになります。北陸を代表する病院を訪れ、ハード・ソフトの両面から病院経営に関する先進的な取り組みを学ぶ新しい企画です。

次に、演題発表の充実については、これまで10人前後だった演題発表者の人数を増やし、大会をさらに盛り上げようと画策しています。また、同じテーマで発表する者同士が複数人壇上に立ち、議論を深掘りする場も設ける予定です。

そして、大会を後押しする要素として、3月14日(土)に迫った北陸新幹線の開業があります。東京~金沢間が最速2時間28分となり、首都圏方面からのアクセスが大幅に改善されます。北陸がより一層身近に感じられることでしょう。

全国で活躍する医療経営士の皆さん、金沢で開催される全国大会に、ぜひお越しください。



金沢駅 ©Scirocco340-Fotolia.com

全国各地に拡大を続ける支部ネットワーク

医療経営士の実践力向上を目指す
地域支部研究会が花盛り!TOPICS 支部設立に向けて、
北海道支部準備室が本格始動!

全国6支部が毎月のように活発な研究会を展開するなか、北海道ではこれまで、年に1度の研究会を開催するにとどまっていた。しかし、2015年の幕開けとともに、いよいよ支部設立に向けて本格的に動き始めています。

北海道は、全国的に見ても医療経営士が多い地域であり、これまで、支部設立に関するお問い合わせや期待の声がたくさん寄せられていました。1月24日(土)には、「診療報酬算定モレ防止」をテーマに、3回目となる北海道研究会を開催し、約20名の医療経営士の方々にご参加いただきました。研究会の内容もさることながら、今後の研究会テーマに対する要望や進め方について意見交換をすることができ、医療経営士の皆さまの熱心さを実感し、交流を深めるよい機会となりました。

北海道支部設立については、現在、新年度よりスタートできるように関係者などと話を進めているところです。また、これまで札幌でしか研究会を開催できておらず、全道の会員の方とは思うように交流できていません。支部設立の暁には、道内各地で研究会を開催できればと考えています。

ご存知のとおり、北海道は広大で、道内といっても地域によっては、かなりの距離があります。そのため、1会場でのマクロ的テーマでの研究会を続けていくことはもちろんですが、たとえ参加人数が少なくても、各地で地域性を考慮した研究会を開催することも検討していきたいと考えています。

医療経営士には、事務方だけでなく、さまざまな職種の方がいます。北海道では特に介護関係者とのかかわりを増やしていくことにより、将来の医療提供体制や医療・介護サービスなどの包括的な役割にも携われたらと思っています。医療経営士の皆さまには、病院単体の業務改善や収支に対する貢献はもちろんのこと、視野を広げて地域全体のリーダーとなれる人材としての役割も担っていただけるよう、北海道支部ならではの活動を企画していく予定です。



JA北海道厚生連経営企画室・佐野崇昭氏、医療法人深仁会定山溪病院・小川輝史氏を講師に迎えた第3回北海道研究会の様子

中国支部 地域で何をすべきかを考える研究会活動に

中国支部は2014年7月1日(火)、設立発起人会をもち、支部活動を開始しました。支部長には医療法人清風会(広島市)の梶原四郎理事長が就任し、支部理事には財団法人操風会岡山旭東病院(岡山市)の土井章弘院長、社会医療法人祥和会(福山市)の大田泰正理事長が就任。同日開催した設立記念パーティーでは、役員とともに中国地方の会員が、医療界で自分たちがすべきことについて熱く語り合いました。

11月には、第1回研究会として「医療経営士に期待すること～21世紀を生きる職業として」を広島市で開催しました。講師を務めていただいた梶原支部長は、「激変する社会環境のなかで、適切な医療を提供し続けるために何をすべきか。歴史を知って、次に生かすという姿勢が重要です。2025年問題の解決にあたり、わが法人のことだけを考えるのではなく、地域のなかで何をすべきかを考えてほしい」と訴えました。

梶原支部長はさらに「常識を超える非常識」の重要性も指摘。「非常識が常識を超えることを恐れず、夢を描いてほしい。『将来、理事長になる』という意識で仕事をすると、物の見方や取り組みの結果も変わってきます。医療経営士は、今後の医療界に必要な人材。研さんを続けてほしい」と参加者を激励しました。

また、2015年1月には、会員の元木康人氏(福山市・税理士法人元木会計代表社員)が、「持分なし医療法人への移行促進の意味」について講演しました。

中国支部では今後も、医療経営士がそれぞれの専門性を活かし、講師を務める研究会を企画していきたいと考えています。研究テーマおよび講師を希望する方は、事務局までご連絡ください。



「常識を超える非常識」の重要性を指摘する梶原四郎支部長

九州支部 “地域づくり”の拠点・南九州支局を開設

九州支部は2014年4月、鹿児島市に日本医療経営実践協会九州支部“南九州支局”を開設しました。12年に九州支部を設立して以来、研究会は福岡市のみでの開催で、鹿児島県、宮崎県から、地元開催の要望が強くなっていました。

南九州支局では「研究会企画実行委員」が自発的に研究会を企画し、運営しているのが大きな特長です。初年度は「財務状況を知り、成功する経営戦略を立案する」を目標とし、6月から半年間にわたり、医療経営士3級の井手上義彦さん(鹿児島市・株式会社BMソリューション代表)を講師に、財務の基本を学びました。継続受講の参加者も多く、「基礎から財務の勉強をしたいと思っていました。練習問題なども用意していただき、わかりやすく理解できました」と好評でした。

また、2015年1月には、南九州支局の開設に大きなご協力をいただいた医療法人玉昌会の高田昌実理事長に、支局長講演として「経営トップが期待する管理職像」についてお話しいただきました。高田支局長は、「地方創生」「人口問題」「災害対策」「金策」など、トップが常に考えていることを挙げ、「法人の理念と行動指針を理解して行動すること」「自分が経営者になったつもりで考えること」「自分の部門だけでなく全体的に物事をとらえること」など、管理職に期待する思考法などについて語りました。

九州支部では、企画運営のほか、講師として参加者を指導するところまで、医療経営士の皆さんで担当し、互いに切磋琢磨していける研究会を目標にしていきたいと考えています。福岡市会場、南九州会場いずれも、「こんなテーマを研究したい」「自院の取り組みを発表したい」という参加者を募集しています。研究会を自分たちで企画・運営することで、一段と成長するきっかけにしてほしいと願っています。



医療経営士自らが、研究会を企画・運営

地域支部研究会の今後のスケジュール

開催日	支部	テーマ	講師
3月6日(金)	関東	ヘルスケア関連ビジネス研究会第1回(全2回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
3月6日(金)	関東	第4回仙台研究会「病院経営を中心としたヘルスケア産業の動向」	青山竜文氏(株式会社日本政策投資銀行ヘルスケア室室長)
3月21日(土)	関西	医療経営士勉強会(研究会)in 高松「病院会計の基礎」	梅原隆氏(新日本有限監査法人大阪公会計部パートナー、公認会計士)
4月11日(土)	東海	「経営企画部門のマネジメント」を身につける“石井ゼミ”第1回(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
4月18日(土)	関西	「経営企画部門のマネジメント」を身につける“石井ゼミ”第1回(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)

※詳細は協会ホームページをご確認ください。

協会事務局からのお知らせ

**第4回「全国医療経営士実践研究大会」
金沢大会の開催が決定!**
**第9回「医療経営士2級」資格認定試験の
受験エントリーは4月3日(金)に受付開始!**

今年も気が付けばもう3月が目前。新年度を控え、会員の皆様もお忙しい日々を送られていると思います。

さて、今年の10月31日(土)、11月1日(日)の2日間にわたり、第4回「全国医療経営士実践研究大会」が開催されます。今回は地方開催第3弾として、昨年の京都に続き、古都金沢での開催となります。

10月31日(土)、11月1日(日)と月をまたいでの開催となりますが、新幹線が開通して初めての秋の観光シーズン(飛び石連休)ですので、昨年の京都同様、たくさんのお客が予想されます。会場周辺の宿泊施設の数は京都に比べるとやはり少ないので、宿の確保はお早めをお願いいたします。

「全国医療経営士実践研究大会」のメインイベントである「演題発表」ですが、昨年は10名の医療経営士が登壇されました。前回、そして前々回と最優秀賞は女性でしたので、今年こそ男性陣の奮起を期待しております。

前回の大会終了後、このコーナーで京都大会での選考を左右したのは「リーダーシップ力」であったと報告いたしました。前々回の福岡大会では「プレゼンテーション力」がポイントとなっていました。では、今年の金沢大会では、なにが選考のポイントになるのでしょうか?

そのヒントを、京都大会の審査委員長を務められた川淵孝一先生が、2月7日(土)に行われた2015年「新春の集い」のご挨拶の中で語られていました。それは「地域をまとめる力」です。

医療経営士は、自院の、そして取引先の医療機関の経営課題を解決する能力を有し、実践的な経営能力を備えた人材であるということをご存じのとおりですが、これからはさらに、地域をまとめる、つまり「地域経営」のスキルが求められてきているといえます。「地域経営」というと、ややスケールが大きすぎるとお考えになるかもしれませんが、地域を支える屋台骨がそこに住む人をサポートする「医療機関」であると考えれば、自院の経営力が地域を支える力であるということが見えてきます。

金沢大会が、医療経営士のこうした「地域経営」への取り組みを後押しする機会になることを期待しております。

また、第9回「医療経営士2級」資格認定試験の受験エントリーは4月3日(金)に開始となります。「医療経営士3級」資格の認定(協会への会員登録)手続き中の方も3級の合格証に記載の受験番号(11桁)にてお申し込みいただけます。エントリーの締め切りは5月8日(金)。ぜひ2級へチャレンジしてください!

それではまた次号でお会いいたしましょう。

2015年5月期限分
年会費請求の案内と
更新の受付を開始

本協会では、本年5月で年会費が期限となる会員約500名に対し、年会費(1万円)の請求を開始した。支払期限は年会費期限の1か月前となる本年4月14日(火)となっている。

日本医療経営実践協会

NEWS & TOPICS

また、同じく本年5月で更新を迎える会員約40名に対し、更新の受付を開始した。対象者には年会費請求ならびに更新の案内を郵送している。

第14回医療経営士3級
資格認定試験が終了

第14回「医療経営士3級」資格認定試験が、2月15日(日)に全国8都道府県で実施された。

合格発表は3月17日(火)。本協会のホームページに掲載されるほか、受験者本人に合格結果通知が郵送される。

2級試験のエントリー
4月3日(金)より受付開始

本協会では、6月21日(日)に実施する第9回「医療経営士2級」資格認定試験の受験エントリーを、4月3日(金)より開始する。エントリーの締め切りは5月8日(金)。

受験料、試験時間、試験内容などの詳細は、本協会ホームページの2級試験概要を確認いただきたい。
なお、同日開催の第15回「医療経営士3級」資格認定試験のエントリーも、同一スケジュールで受け付ける。

「医療経営士」資格認定試験
2015年度ポスターを差し上げます!

2015年度の「医療経営士」資格認定試験のポスターが完成いたしました。会員の皆様にはA4判の小サイズをお送りしておりますが、A2判をご希望の会員様へ差し上げますので、職場やお取引先へポスターをお貼りいただき、「医療経営士」の認知度アップへご協力ください。

ポスターをご希望の方は下記のアドレスへ「医療経営士ポスター希望」とタイトルをつけ、御社名、ご担当者氏名、所属部署、肩書き、ご住所、電話番号をご連絡ください。

E-mail : info@jmmpa.jp



制度改正を整理し、これからの介護事業を見据える1冊

2015年度 **まるわかり!** 介護保険制度改正のすべて

もう介護報酬のアップは期待できない!
—— ビジネスチャンスを広げる個性化経営へ

著者 小濱道博 (小濱介護経営事務所代表、NKK一般社団法人日本介護経営研究協会専務理事、C-SR一般社団法人介護経営研究会専務理事、一般社団法人介護事業援護会理事、C-MAS介護事業経営研究会最高顧問 ほか)

目次

第I編	2015(平成27)年度介護保険法改正の経緯と今後の流れ
第II編	2015(平成27)年度介護保険法改正の解説
第III編	介護保険法外の動向
第IV編	これからの介護事業経営

amazon.co.jp 書籍介護部門 **ランキング1位!**

A5判、並製、204頁 (2014/11/14調べ)
定価: 2,700円(税込) → 会員価格 2,160円(税込)



好評
発売中!